

第1章 国土に係る状況の変化

第1節 国土を取り巻く時代の潮流と課題

- (1) 急激な人口減少、少子化
- (2) 異次元の高齢化の進展
- (3) 都市間競争の激化などグローバル化の進展
- (4) 巨大災害の切迫、インフラの老朽化
- (5) 食料・水・エネルギーの制約、地球環境問題
- (6) ICTの劇的な進歩など技術革新の進展

第2節 国民の価値観の変化

- (1) ライフスタイルの多様化
 - ・国際化の中で競争に勝ち抜き経済的豊かさを目指す「国際志向」
 - ・自然や地域に根付いた金銭に換算できない豊かさを求める「地域志向」
- (2) コミュニティの弱体化、共助社会づくりにおける多様な主体の役割の拡大・多様化
- (3) 安全・安心に対する国民意識の高まり

第3節 国土空間の変化

- (1) 低未利用地や耕作放棄地、空き家、所有者の所在把握が難しい土地等の問題の顕在化
- (2) 森林の適切な整備・保全や国産材の本格的活用による持続的な森林管理の必要性
- (3) 海洋環境及び海洋権益の保全、海洋資源の利活用、離島地域の適切な管理を行う必要

「日本の命運を決する10年」

第2章 国土の基本構想

第1節 「対流促進型国土」の形成:「対流」こそが日本の活力の源泉

○「対流」の意義

- ・多様な個性を持つ様々な地域が相互に連携し生じる地域同士のヒト・モノ・カネ・情報等の双方向の流れ。地域間の個性の差が際立つほど、よりダイナミックに
- ・単なる平面的な二地域間交流だけでなく、広がりのある立体的で重層的な「対流」を促進

○「対流」の発生、維持、拡大と対流促進型国土

地域の多様な個性が温度差となって対流が発生、維持、拡大する「対流促進型国土」の形成を図ることを国土の基本構想とする

第2節 重層的かつ強靱なコンパクト+ネットワーク

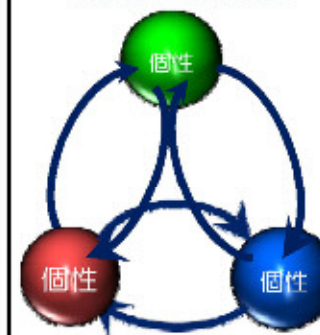
様々な「コンパクト+ネットワーク」が国土全体に重層的に広がる。生活サービス機能から高次都市機能、国際ビジネス機能まで提供され、イノベーションを創出するとともに、災害に対しても強靱な国土構造を実現

第3節 地域別整備の方向

- ・中山間地域等、地方都市、広域ブロックの中心的な都市、大都市圏
- ・都市と農山漁村の相互貢献による共生

第4節 東京一極集中の是正と東京圏等の位置づけ

対流は立体的に



第3章 国土の基本構想実現のための具体的方向性

第1節 グローバルに羽ばたき、ローカルに輝く国土

(1) 個性ある地方の創生

- ・地域構造の将来像(「小さな拠点」、「コンパクトシティ」、地域間連携)
- ・魅力ある「しごと」の創出(地域資源の活用、農林水産業の6次産業化、観光振興、サービス産業の生産性向上、イノベーション拠点の形成等)
- ・人の対流の推進(移住、二地域居住、二地域生活・就労等)

(2) 活力ある大都市圏の整備

- ・大都市圏の強い個性と連携による新たな価値の創造(東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、その後も見通した取組の推進等)
- ・安全・安心な大都市圏の形成(「地域包括ケアのまちづくり」等)
- ・安心して子どもを産み育てるための環境整備(子育てに適したまちづくり)

(3) グローバルな活躍の拡大

- ・世界に活動の場を広げ、成長力を高める(選択と集中、産学官金の連携等)
- ・グローバルな対流の高度化(空港、港湾の機能強化、日本海・太平洋二面活用型国土等)
- ・リニア中央新幹線によるスーパー・メガリージョンの形成
- ・観光立国のさらなる展開(2020年を大きな通過点としつつ、その後の長期を見通した戦略的な取組の推進等)

第2節 安定した社会を支える安全・安心な国土

(1) 安全・安心で持続可能な国土の形成

- ・災害に対し粘り強くなやかな国土の構築(多重性・代替性、東北の復興等)
- ・国土の適切な管理・土地の有効利用(農用地の保全、森林の整備及び保全、健全な水循環の構築等)
- ・環境と共生した持続可能な国土づくり(生物多様性の確保、適正な物質循環の構築、地球環境問題への対応)
- ・海洋・海域の保全と利活用
- ・国民の参加による国土管理(国土の多面的・選択的な利用等)

(2) 国土基盤の維持・整備・活用

- ・戦略的メンテナンスの推進、スマートインフラ化の普及
- ・安全安心インフラ、生活維持インフラ、成長インフラの整備における「選択と集中」の徹底
- ・インフラを支える担い手の確保(現場の担い手・技能人材の確保・育成)

第4節 横断的な視点

(1) 時間軸の設定

(2) ICT等の技術革新の導入

(3) 民間活力の活用(PPP、PFI等)

第3節 国土を支える参画と連携

(1) 地域を支える担い手の育成

- ・地域づくりを担う人材の育成
- ・「若者希望社会」の形成
- ・「女性活躍社会」の実現
- ・「高齢者参画社会」の推進

(2) 共助社会づくり

- ・共助社会づくりにおける多様な主体の形成
- ・人の対流を活用した共助社会づくり
- ・コミュニティの再生
- ・出産・子育ての環境整備(職住近接、テレワーク等)